

ベトナム南部最大の都市ホーチミン市から南端に位置するカンザーにあるマングローブの森を見に行った。

途中大きな再開発が行なわれている近代的な町並みを抜け、バイクで埋め尽くされたフェリーに乗り、えびの養殖地帯を抜けた先にあるマングローブの森 思い描いていたより乾季のため湿地(水)が少なく船に乗るために奥深くまで歩くこととなった。

途中野生のサルがいるところを抜け、ボートに乗る。川の両サイドはマングローブの森で覆われている。

マングローブとは植物の名前ではなく、熱帯・亜熱帯地域の河口付近で海水が満ちてくる所に生息する植物をまとめて呼ぶ。

途中ベトナム戦争時のベトナム兵士の基地跡を見学した。このような場所に潜みながら戦っていた事は現在のホーチミン市を見ていただけでは想像もつかない場所である。

ベトナム戦争で枯葉剤などによりほとんど消滅したマングローブの森が戦争後約30年程度でこのような森に復活しているのには正直驚いた。

現地に有った枯れはてたマングローブの森の写真を見て、枯葉剤・空爆で受けた悲惨な人たちの写真と同じぐらいの衝撃をうけた。大切な自然・将来子供たちに残していかなければならないものは何なのか戦争の悲惨さを含め改めて考えさせられるマングローブの森であった。

日本に帰り知ったことだが、マングローブの森を復活する為に色々な人たちが努力をしている。

